

天気の良い日に塗りましょう

雨の日は湿気が多いので乾きにくく、特にニス
はつやがなくなり、白く濁ったりしますので、
必ず晴れた日を選びましょう。

塗料がつくと困るところは

塗り始める前にマスキングテープやマスカー、
新聞紙などを貼り、カバーしておきましょう。

塗る面はきれいに

汚れやサビをきれいにし、木部などはサンドペ
ーパーをかけると塗料のつきもよくなります。

一度に厚く塗らないように

薄めに2~3回に分けて塗りましょう。一度に厚
く塗ってしまうと、中が乾かないのでシワや縮
み、ひび割れができたりします。

ただし「1回塗り」と書いてある塗料は1回で
厚く塗っても大丈夫です。また、前に塗った塗
料が乾かないうちは2回目は塗らないようにし
ましょう。

刷毛の種類と用途

・平刷毛

平たい面を塗る
刷毛で、
水生用と
油性用が
あります。



・筋交い刷毛

コーナー部分を主に
塗る刷毛で、
水性用、
油性用、
ニス用が
あります。



・コテ刷毛

広い平面を短時間に
塗る刷毛で、
床や壁の
塗装に
便利です。



・隙間刷毛

普通の刷毛では入ら
ない隙間を塗る
時に使い
ます。また自在
に曲がるので、狭い
隙間の向こう側も塗
れます。



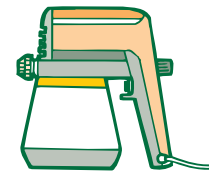
・ローラー刷毛

広い面を塗る
刷毛で、
多少の
凸凹があっても
塗れます。



・スプレーガン

広い面を
均一に、
早く
塗れます。



刷毛のお手入れ

新しい刷毛を使う時は、手のひらで強めにしごいて
から指で抜毛を引き抜いておき、塗った時に抜毛が
塗装面に残らないようにしておきます。



使い終わった刷毛はすぐ洗い流してください。

<水性塗料>十分に水洗いします。

<油性塗料>刷毛洗い液で十分に洗ってから中性洗剤で洗って、
最後に水洗いします。



ハケ洗い液



中性洗剤



用途	分類	うすめ液	乾燥時間
浴室、台所	かべ浴室用	水	約1時間
室内、屋外の木、板塀、垣根、フェンス、窓枠、鉄、コンクリート、モルタル、漆喰部分	水性つやあり塗装	水	約30分
	弾性外壁用	水	約3時間
サンデッキ、雨戸、濡れ縁、羽目板	アレスアーチ	水	約1時間
モルタル壁、コンクリート壁、ブロック塀	水性外壁用	水	約1時間
屋根、塀、とい、外回り等のトタン、カラートタン	トタン用	ペイントうすめ液	約8時間
		ボイル油	
セメント瓦、スレート瓦、カラーベストコロニアル	屋根用 (水性いろいろ屋根)	水	約1時間
家具、建具、玩具、電気器具、自転車などの木部、金属部全般	エナメル	水	1時間
		ペイントうすめ液	2~3時間
木部、金属全般	ラッカー	ラッカーうすめ液	約30分
		スプレータイプ	約30分
階段、床下、木製床面、家具、建具などの艶出し	床用ニス	ペイントうすめ液	約90分
家具、木工品の透明、透明着色仕上げ	水性ニス	水	約1時間
	カラーニス	ペイントうすめ液	3~4時間 5~6時間(冬期)
建物内外の木部、家具、木工品の防虫、防腐、防カビ	防虫防腐着色ステイン	ペイントうすめ液	1~約24時間

【使い始める前に】

容器を逆さにしてよく振ってから開け、底から棒でよく混ぜます。

粘り気が強く塗りにくい場合はうすめ液で調整してください。

※それぞれのうすめ液は左表参照



【保存する場合(缶)】

ふたをした後、上から木を当ててかなづちで叩いてしっかりと密封させる事が大切です。

油性塗料は表面に皮張りが出来てしまう、また水を加えた水性塗料は、水が腐る可能性があるため半年が限度です。



【スプレー塗料が残ったら】

逆さにして2~3秒ほどボタンを押し続け、ノズルに残っている塗料を吹き飛ばしておかないと、ペンキがノズルの中で乾いてしまい、次に使えなくなってしまう。



【うすめ液】

必ず塗料に合ったものを使いましょう。

刷毛を洗う時にも使います。

